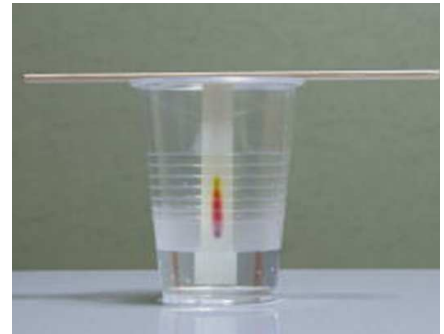


サインペンの色を分けてみよう！

とっとりだいがくこうがくぶ
鳥取大学工学部 ハン ミナ,

わたし つか くるいろ ちやいろ あかいろ ふくすう いろ ま もの
私たちが使っている黒色、茶色、赤色などのサインペンは、複数の色の混ぜ物です。サインペンには油性と水性の二種類があり、水性ペンの場合、混ぜられているものを紙と水で分けることができます。このペーパークロマトグラフィーという方法でサインペンの色を分けてみましょう。

すいせい しきそ みず と しきそ と みず かみ せんい もうさいかんげんしょう
水性ペンの色素は水に溶けます。色素を溶かした水は紙の繊維による毛細管現象によって上昇していきます。色素は、種類によって、紙にくっつきやすいもの、くっつきにくいものがありますので、紙にくっつきやすいものは早く、くっつきにくいものは遅くに紙に固定されます。水への溶けやすさと紙へのくっつきやすさによって、色に分解されるのです。このようにして、混ぜり合ったもの（混合物といいます）を分離することができます。



Kuretake社の茶色



紫色



緑